

令和3年度 e・アンケートモニター  
第3回アンケートNo.3 調査結果

テーマ 空き家対策に係る既存住宅（中古住宅）の流通促進について

I 調査の概要

1 調査の目的

総務省「平成30年住宅土地統計調査」によると、全国の空き家は約846万戸、空き家率は13.6%であり、年々その数は増えています。山口県でも空き家の数、率ともに増加しており、空き家率は17.6%と全国平均を上回っています。

本県では、今後も増加すると予想されている空き家への対策として、既存住宅（中古住宅）の流通を促進するための施策を実施することとしており、この度のアンケートの結果を施策実施の基礎資料とさせていただきます。

2 調査実施期間

令和3年9月15日(水)～9月29日(水)

3 調査対象

令和3年度e・アンケートモニター 111人

4 回答状況

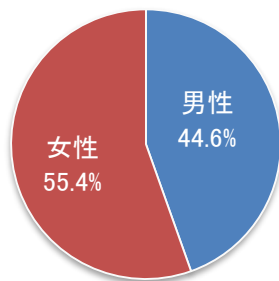
回答者 92人(回答率 82.9%)

5 調査担当課

山口県土木建築部住宅課

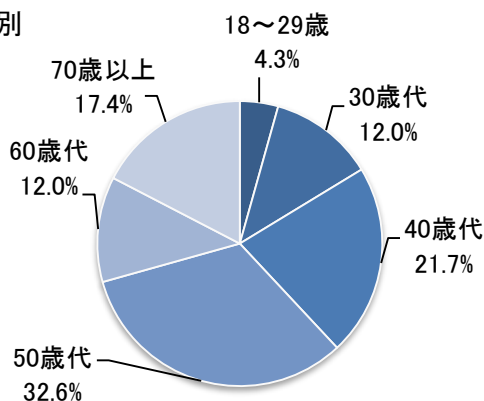
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	41	44.6
女性	51	55.4
計	92	100.0

■年代別

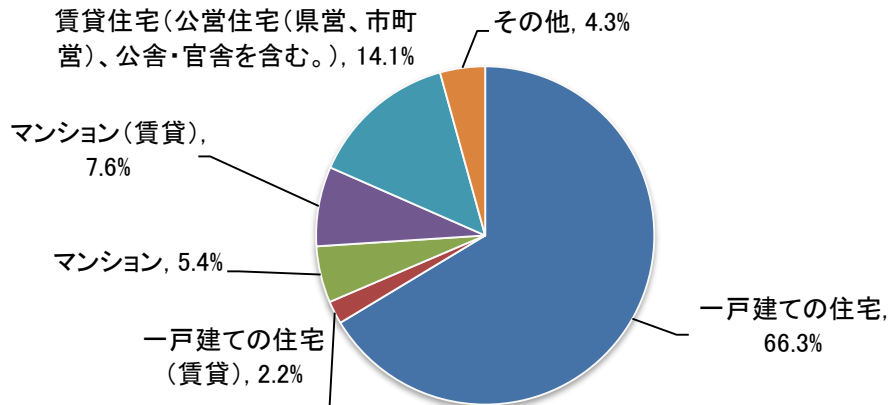


区分	人数	%
18～29歳	4	4.3
30歳代	11	12.0
40歳代	20	21.7
50歳代	30	32.6
60歳代	11	12.0
70歳以上	16	17.4
計	92	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

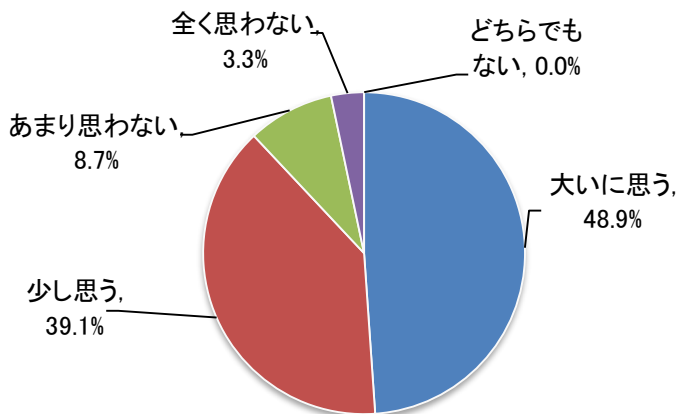
### Ⅲ 調査結果

Q 1 あなたの、現在住んでいる住宅の種類をお答えください。(1つのみ)



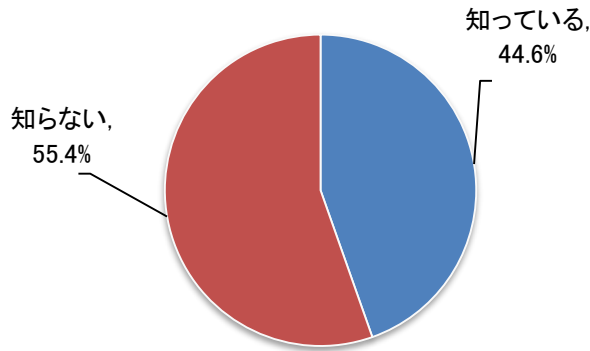
選択肢	人数	%
一戸建ての住宅	61	66.3
一戸建ての住宅(賃貸)	2	2.2
マンション	5	5.4
マンション(賃貸)	7	7.6
賃貸住宅(公営住宅(県営、市町営)、公舎・官舎を含む。)	13	14.1
その他	4	4.3
計	92	99.9

Q 2 近年、あなたの周囲において空き家が増えていると思うことがありますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
大いに思う	45	48.9
少し思う	36	39.1
あまり思わない	8	8.7
全く思わない	3	3.3
どちらでもない	0	0.0
計	92	100.0

**Q 3** 空き家は、「危険空き家（建物所有者による管理が適切に行われておらず、周辺環境に影響を及ぼすもの）」と「その他空き家（危険空き家以外の空き家（例：アパートの空き家、別荘 など）」の2つに分けることができます。あなたは、空き家にこのような区分があることを知っていますか。（1つのみ）

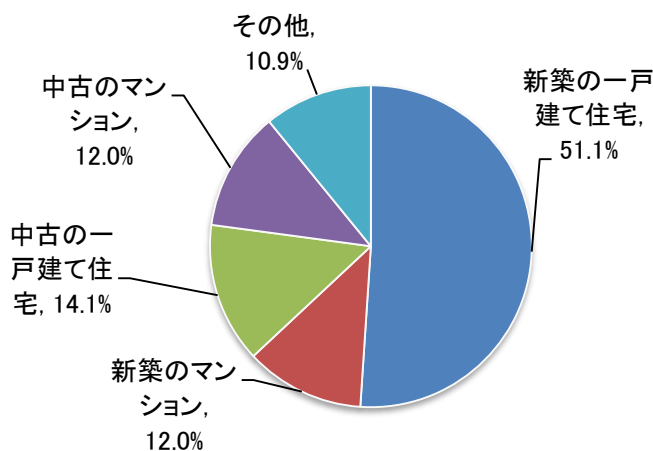


選択肢	人数	%
知っている	41	44.6
知らない	51	55.4
計	92	100.0

**Q 4** あなたは、今後も増加すると見込まれている空き家について、どのようにすればその数を減らすことができると思いますか。（全角300字以内）

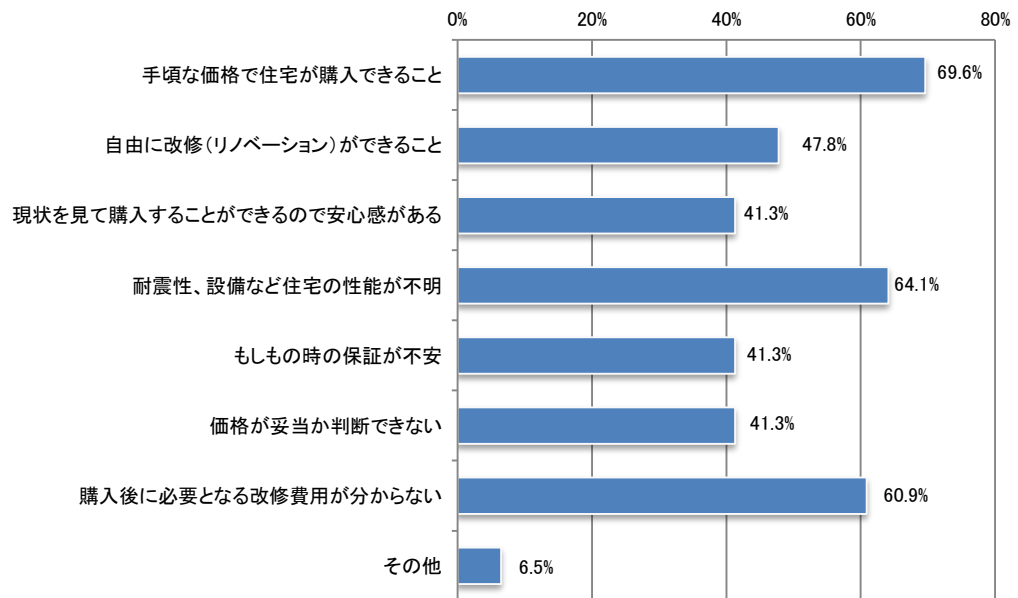
省略

**Q 5** あなたは、今後住宅を所有する場合、次に掲げる住宅のうち、どの住宅に住みたいと思いますか。（すでに住宅を所有されている方は、仮に所有することとなった場合を想像してお答えください。）（1つのみ）



選択肢	人数	%
新築の一戸建て住宅	47	51.1
新築のマンション	11	12.0
中古の一戸建て住宅	13	14.1
中古のマンション	11	12.0
その他	10	10.9
計	92	100.1

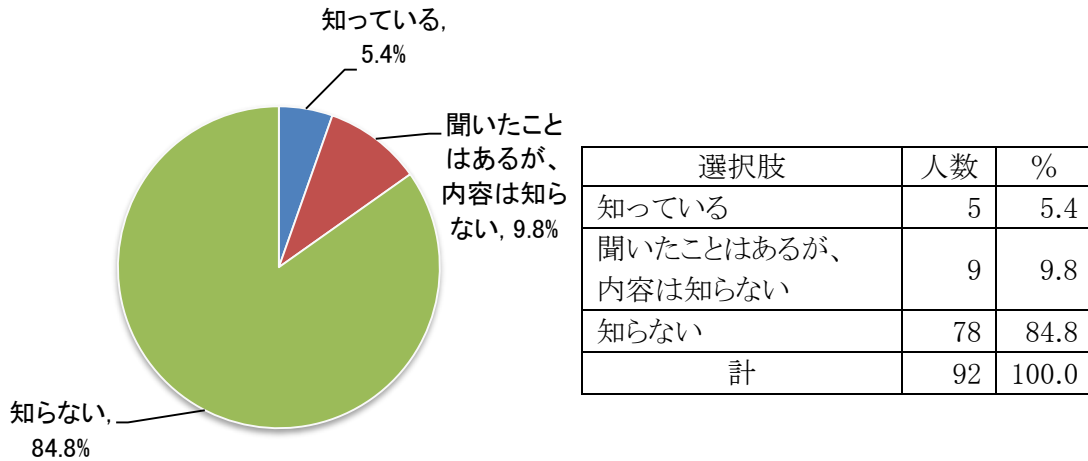
Q6 既存住宅（中古住宅）に対するイメージをお答えください。（いくつでも）



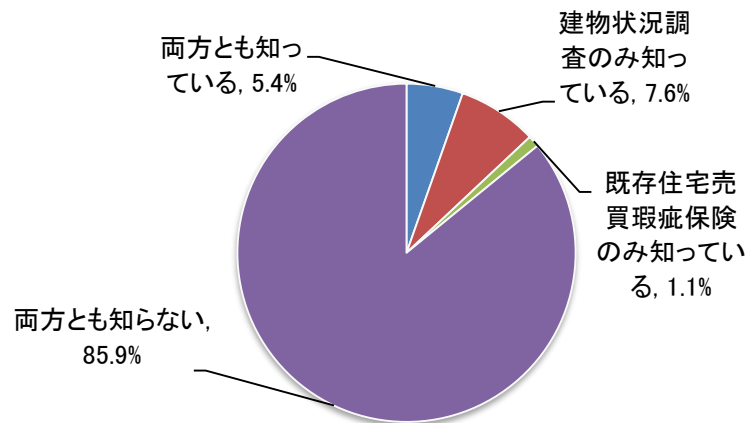
(n = 92)

選択肢	人数	%
手頃な価格で住宅が購入できること	64	69.6
自由に改修(リノベーション)ができること	44	47.8
現状を見て購入することができるので安心感がある	38	41.3
耐震性、設備など住宅の性能が不明	59	64.1
もしもの時の保証が不安	38	41.3
価格が妥当か判断できない	38	41.3
購入後に必要となる改修費用が分からない	56	60.9
その他	6	6.5

- Q7** 本県では、既存住宅（中古住宅）売買の際に、既存住宅の売主が、
- ・「建物状況調査（専門家による中古住宅の劣化・不具合の調査、インスペクションともいう。）の実施」、
  - ・「既存住宅売買瑕疵保険（売買後に瑕疵（不具合）が発見された場合の保険）への加入」、
- の両方を実施した場合に、費用の一部を補助する制度を実施しています。  
あなたは、県の補助制度について知っていますか。（1つのみ）

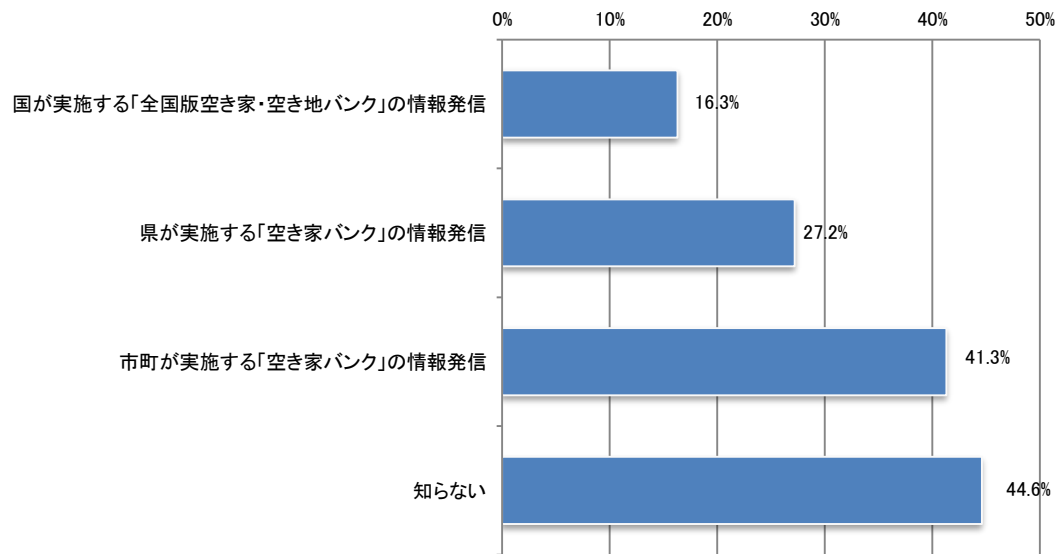


- Q8** あなたは、「建物状況調査（インスペクション）」、「既存住宅売買瑕疵保険」について、知っていますか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
両方とも知っている	5	5.4
建物状況調査のみ知っている	7	7.6
既存住宅売買瑕疵保険のみ知っている	1	1.1
両方とも知らない	79	85.9
計	92	100.0

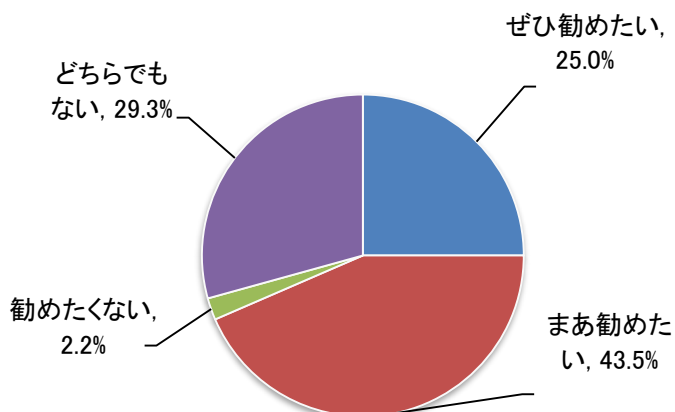
**Q9** 移住者、定住者に向けた住宅に係る取組として、「空き家バンク」という取組が実施されています。次に掲げる項目のうち、あなたが知っているものを選んでください。  
(いくつでも)



(n = 92)

選択肢	人数	%
国が実施する「全国版空き家・空き地バンク」の情報発信	15	16.3
県が実施する「空き家バンク」の情報発信	25	27.2
市町が実施する「空き家バンク」の情報発信	38	41.3
知らない	41	44.6

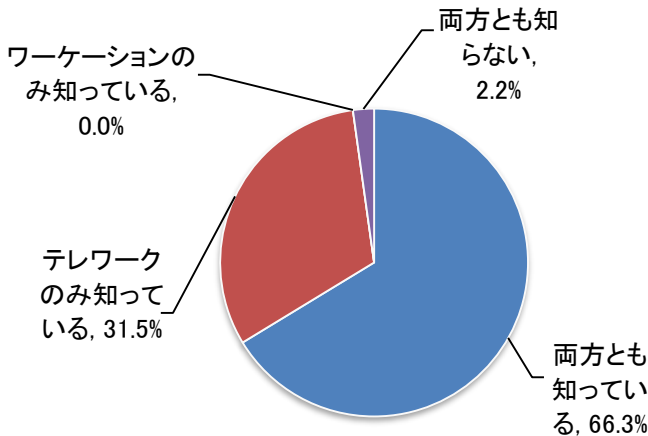
**Q10** あなたは、移住、定住を検討されている方が山口県内に住まいを探している場合、「空き家バンク」を勧めたいと思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
ぜひ勧めたい	23	25.0
まあ勧めたい	40	43.5
勧めたくない	2	2.2
どちらでもない	27	29.3
計	92	100.0

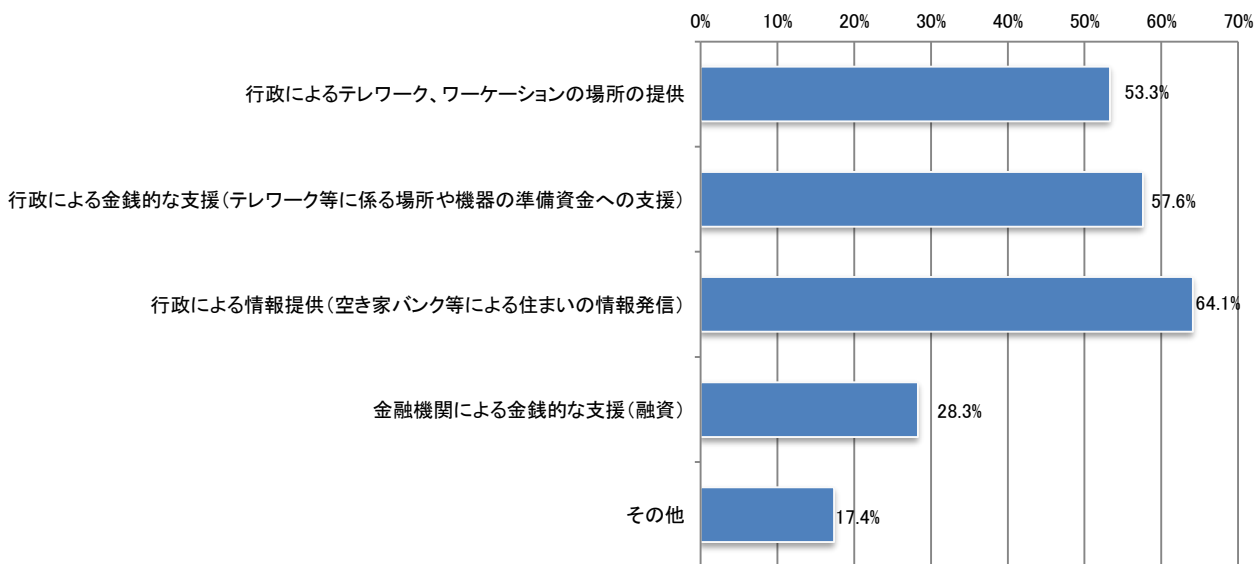
**Q 1 1** コロナ禍を契機として、テレワークやワーケーションという時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が普及しています。あなたは、テレワークやワーケーションという言葉を知っていますか。(1つのみ)

- ・テレワーク: 情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。
- ・ワーケーション: 「仕事」(work)と「休暇」(vacation)を組み合わせた造語で、各観光地やリゾート地で休暇を取りながらテレワーク・リモートワークする働き方のこと。



選択肢	人数	%
両方とも知っている	61	66.3
テレワークのみ知っている	29	31.5
ワーケーションのみ知っている	0	0.0
両方とも知らない	2	2.2
計	92	100.0

**Q 1 2** テレワーク、ワーケーションの普及促進のため、今後どのような取組が必要だと思いますか。(いくつでも)



(n = 92)

選択肢	人数	%
行政によるテレワーク、ワーケーションの場所の提供	49	53.3
行政による金銭的な支援 (テレワーク等に係る場所や機器の準備資金への支援)	53	57.6
行政による情報提供(空き家バンク等による住まいの情報発信)	59	64.1
金融機関による金銭的な支援(融資)	26	28.3
その他	16	17.4